

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

## ■コミュニティだより

VOL. 79 (年4回発行)

■発行日 平成28年3月31日  
 ■発行 三春まちづくり協会  
 ■編集 三春まちづくり協会広報部会  
 三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒寮)  
 TEL/FAX (62) 3988

### 「出前懇談会の開催」

— 町の課題をみんなで考えよう —

「三春町人口ビジョン」  
 「三春町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

二月一日三春交流館「まほら」に於いて出前懇談会が開催されました。昨年十月、「第七次三春町長期計画」を踏まえ「三春町人口ビジョン」と「三春町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。これは、今後三春町が目指すべき人口の将来展望と、そのための基本目標や具体策についてさまざまな方面から考えられたものです。当日は総務課企画情報グループからの説明の後、懇談に入りました。三春町の魅力を掘り起し、町を活性化し人と呼び込むためにはどうすればいいのか、参加された方々により、活発な意見の交換がかわされ有意義な懇談会となりました。説明のあった項目の概要は次のとおりです。

#### 【三春町人口ビジョン】

##### ■人口の現状

人口は、昭和三〇年以降減少傾向にあり、転出が転入を上回る「社会減」の状態。出生率は平成二四年で一・四〇と全国・県と同水準で出生数は一〇〇人前後を維持

##### ■人口の展望

このまま人口減少が続くと、就業者が減少し、地域経済も停滞していくことが予測されることから、「総合戦略」の各施策・事業に取り組み、転出の抑制と出生率の向上を目指し将来的



#### 【三春町総合戦略】

な人口の維持につなげる。平成七二年で人口一万二千人程度を維持

##### ■基本目標 ①

「しごと」の創出と多様な人材の育成  
 (1)雇用を支える地域産業の競争力強化

##### ◇基盤産業である工業分野の振興

- ・国や県が実施する税制上の優遇措置や補助金制度などの各種媒体による周知や相談窓口の充実
- ・地元金融機関と連携した融資やビジネスマッチングなど、総合的な支援体制の整備

##### ◇特色ある観光産業の振興

- ・観光地への公衆用無線LANの設置
- ・もみじ山の整備や着地型旅行商品の開発、アニメコンテンツの活用などによる情報発信
- ・アニメ制作会社や県環境創造センターと連携した

##### 教育旅行の誘致

◇稼ぐ力のある農業の再生  
 ・集落を基盤とした農業経営の共同化や組織化の推進

・他業種などと連携した農産物の六次産業化

・地元金融機関と連携したビジネスマッチングによる販路開拓の支援

・田んぼアート事業などによる農村観光の推進

##### ◇商業、サービス分野への支援

- ・町の事業者が抱える課題や要望の支援
- ・商工業や三春まちづくり公社、地元金融機関と連携した商品開発や販路開拓などの支援
- ・中小企業金融対策事業や地元金融機関の融資制度の周知

##### (2)新事業新産業を生み出すための包括的創業支援

- ◇企業誘致の強化
- ・工業用地の積極的な情報発信
- ・工場等立地促進奨励金による工場等の立地促進

による工場等の立地促進  
 ・地元金融機関と連携した首都圏企業との交流誘致PR

##### ◇創業の支援

- ・空き店舗や蔵などを活用する事業者への支援体制の充実
- ・支援制度を含めた相談にワンストップで対応できる窓口の強化
- ・地元金融機関と連携した融資制度の充実

##### (3)「しごと」の担い手となる人材の育成

- ◇担い手の育成確保
- ・企業や他市町村からの農業参入者に対する支援
- ・介護資格等スキルアップ資格の取得支援
- ◇町民の雇用奨励
- ・町内事業所に対する雇用促進の奨励

##### ■基本目標 ②

「三春町への新しい人の流れの創出と定住化の促進」

##### ◇住宅施策の充実

- ◇住宅用地の提供
- ・町の住宅分譲地の分譲・定借
- ・空き地の情報収集や情報提供
- ・住宅用地の提供のための民間事業者との連携
- ◇空き家の利活用の推進
- ・空き家の全戸調査による空き家情報の充実
- ・空き家の改修や除去、ハウスクリーニングへの支援

##### ◇移住・定住、二地域居住を促す支援策の充実

- ・地元金融機関と連携した住宅ローンの金利優遇の創設
- ・集合住宅建築に係る事業

##### 者への支援

- ・二地域居住のための体験型生活の提供
- (2)情報提供の推進と窓口と一元化、体制強化

##### ◇移住・定住に係るワンストップ窓口の設置

- ・民間事業者と連携した効果的な情報提供の体制構築
- ・ワンストップで相談対応を行う窓口の設置

##### ■基本目標 ③

「結婚・出産・子育ての希望がかなう環境の創出」

##### (1)結婚の希望がかなう環境の創出

- ◇出会いの場の創出
- ・年代別、職種別の若者の出会いの場の創出
- ・地元金融機関と連携した婚活セミナー等の開催
- (2)妊娠・出産の希望がかなう環境の創出
- ◇産前支援
- ・不妊治療への支援
- ・妊婦検診無料受診券の発行
- ・妊婦健康診査、妊婦検診健康診査の実施
- ・妊婦への訪問相談の実施
- ◇産後支援
- ・乳幼児全戸訪問事業（こどもには赤ちゃん訪問）
- ・乳幼児健康診査事業
- ・出産育児一時金事業
- ・予防接種事業（法定接種任意接種助成）

##### (3)子育ての希望がかなう環境の創出

- ◇子育て支援サービス・情報提供の充実
- ・地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）
- ・育児サークル、親子活動サークルへの支援
- ・子育て支援講座の開催

##### ◇子育ての経済的負担の軽減

- ・子育て支援医療費の助成
- ・多子世帯養育支援
- ・チャイルドシート無料貸し出しの充実

##### ■基本目標 ④

「魅力ある安心なまちの創出と地域間交流の推進」

##### (1)中心市街地の活性化推進

- ・中心市街地の魅力向上
- ・土蔵、歴史的建造物の保存・活用
- ・街なか賑わい創出事業による商店街の活性化推進
- ・商工会や三春まちづくり公社と連携したイベントの開催
- ・街なかの魅力伝える情報発信の強化
- (2)健やかに暮らせるまちづくりの推進
- ◇健康診査・保健指導の充実
- ・成人健康診査、特定保健指導の実施
- ・健康教育、健康相談、訪問指導の実施
- ・駅前健康サロンの運営
- ◇地域医療の充実
- ・医療機関の町内連携や広域的連携

(裏面へ)

- ・地域の医療ニーズにこえた診療体制の確保
- ◇地域で生活できる福祉環境の構築
  - ・地域密着型サービス事業所の運営に対する監査・指導
  - ・ここに元気塾（通所型介護予防）事業
  - ・緊急通報システム管理運営事業
- ◇生きがいづくりの支援
  - ・老人クラブ運営支援
  - ・シルバークラブセンター事業への支援
- (3)町民参画によるまちづくりの推進
- ◇コミュニティ活動の充実
  - ・まちづくり交付金やコミュニティ助成などによる支援
  - ・NPO活動などに対する支援
- ◇ボランティア活動への支援
  - ・ボランティア団体の育成・支援
  - ・三春町まちづくり賞の表彰などによるボランティア活動の周知
- (4)町外地域との交流・連携推進
- ◇地域間交流の推進
  - ・姉妹都市との交流促進
  - ・スポーツや地場産業を通じた交流事業
- ◇国際交流の推進
  - ・国際姉妹都市との交流
  - ・国際交流イベントの実施
- ◇近隣自治体との連携
  - ・広域消防組合や各種協議会の体制強化
  - ・連携中核都市圏の形成検討
- ・三春町まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」総合戦略「概要版より抜粋」

### 城下町・三春中心街散策路の紹介 ③

#### ～ 龍穩・愛宕散策路 ～

地域部会 部会長 鈴木 武

この散策路は荒町の龍穩院から中町の愛宕神社を結ぶ稜線を歩く小道である。このルートへは色々な所から行くことができます。龍穩院からスタートするならば隣接する馬頭観音堂へ立ち寄ってみたい。ここには石段角に大滝根川から運んだと思われる甌穴のある石の手水鉢があり河野広中の書による馬頭観音の碑が建てられています。



馬頭観音堂

観音堂別当は天台宗中寺華正院である。長い戦旅で田村麻呂の愛馬が死に、ある夜、馬が景色の良い所で遊ぶ夢を見たという。都へ上る途中三春に差し掛かったとき夢に見た景色がそこにあり、田村麻呂は愛馬の供養に馬頭観音を祀ったという伝説があります。散策路に戻り最初に訪れるのが龍穩院です。曹洞宗の寺院で秋田実季が常陸宍戸（茨城県笠間市）に領地を移されたのに伴い、父愛季の法号「龍穩院」を寺名としました。現在の本堂は、天明の大火により焼失し、10代藩主秋田肥季によって再建されたものです。ここには三春を代表する徳田研山、中村寛亭等文化人の墓があります。荒町からも連絡しますが、散策路から墓群を下がって光善寺に出ます。



観音堂別当は天台宗中寺華正院である。長い戦旅で田村麻呂の愛馬が死に、ある夜、馬が景色の良い所で遊ぶ夢を見たという。都へ上る途中三春に差し掛かったとき夢に見た景色がそこにあり、田村麻呂は愛馬の供養に馬頭観音を祀ったという伝説があります。散策路に戻り最初に訪れるのが龍穩院です。曹洞宗の寺院で秋田実季が常陸宍戸（茨城県笠間市）に領地を移されたのに伴い、父愛季の法号「龍穩院」を寺名としました。現在の本堂は、天明の大火により焼失し、10代藩主秋田肥季によって再建されたものです。ここには三春を代表する徳田研山、中村寛亭等文化人の墓があります。荒町からも連絡しますが、散策路から墓群を下がって光善寺に出ます。

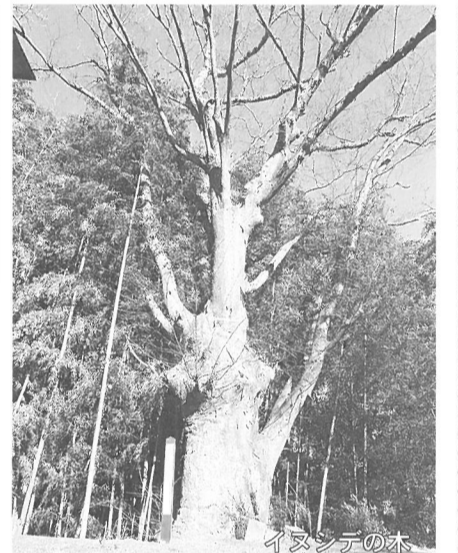
この寺は浄土真宗の寺院で慶長8年頃（1603）年頃釋賢乗（しゃくけんじょう）によって開山されたもので城下で唯一の真宗道場でありました。散策路に戻りさらに進み墓群を下がって臨済宗の高乾院に出ます。（三春は他の小さな町には見られないほど寺院が多く、訪れる観光客は一樣に驚くと云います）

鎌倉時代中頃、青森県五所川原市に仏源禪師が開山したと伝えられています。秋田家の菩提寺として、青森・秋田・宍戸（笠間市）と移転し、正保2（1645）年現在地に建てられました。高乾院の寺名は初代藩主俊季の父、実季の法名に由来します。歴代藩主をはじめ一族の墓が残されています。

今一度稜線の散策路に戻りいよいよ最終地の愛宕神社です。



愛宕神社



イヌシデの木

毎日一人の高齢の方が健康に感謝し手入れをしているこの路は、歩く人にも安心と安らぎを与えてくれます。感謝しながら歩を進めると神社裏手に目通り幹回り2.7メートルのイヌシデの大きな木があります。またケヤキは目通り幹回り5.0メートルを越し町内最大で町の天然記念物に指定されています。134段の石階段を下り288号線の国道に出ます散策路の終点です。

## 協会活動だより

### 福祉部会

「心の健康づくり うつ病」

横山 洋子さん

福祉部会の平成二十七年事業である勉強会として、「星総合病院精神科」森東先生による講演会が一月十二日、三春町保健センターで開催されました。



また、うつ病になりやすい病前性格として、①几帳面、完璧主義 ②頑張り屋で自分の中に閉じこもる人などがあげられます。治療のポイントも、十分な休養とバランスの乱れを調整するための、薬物療法が大事で少しでも早く専門医に相談することです。また、周囲の人達もうつ病は単にこころの問題ではなく、治療が必要な病気であることを理解し、サポートすることが必要であるという事を学ぶことができました。

退職等失うことのむなしさ、結婚、出産、就職、転職など環境の変化に対するストレスが関係し憂うつ感や興味関心の低下が生じ、食欲不振、全身倦怠感、不眠など身体に色々な症状が現れてきます。うつ病は、気持ちの持ちようではなく原因は、脳内神経伝達物質（セロトニン、ノルアドレナリン等）がストレスなどによってバランスが乱れることか

最後に町保健師さんから、そのような方がおられましたら情報をいただければとのお話がありました。一時間の講演はアツという間でしたが充実感を覚え聴講を終えることができました。

### 街並部会

石柱設置場所変更のお知らせ  
桜川改修工事により一時撤去されてしまった「小金滝」の石柱が工事の完了に伴い役場庁舎裏に設置されました。石柱の側面に「小

な滝に山吹の花が映り、黄金色に見えたので、こう呼ばれるようになった」と、謂れを書き加えました。



小金滝

## 編集後記

広報部会では、年四回「三春わが街」の発行を通して三春のまちづくり活動に対して、より多くの町民の皆さんに理解と協力を頂き、親しみのある広報紙をお届けできるような編集していきたいと思っております。ご意見とご指導をお願ひ致します。▼近頃、家族関係や近所付き合いなどの関係が希薄になってきているのが、この世の中もつとも大切なことは言葉かけあう会話です。文字は言葉や思いを伝えます。人と人をつなぎます。その合言葉は▼「お・あ・し・す」です。「お」は思いやりの「お」おはよう始まり、「あ」は愛の「あ」ありがとうなど照れずに、恥ずかしがら信じてあうの「し」危機が訪れた時辛抱しよう。しつかりしるゝと励ましあう他人を信じてることが大切。「す」は素直な心の「す」すこいね、すてきとほめる言葉を相手に送りましょう。ほめられる事で人は自信を持ちます。おだてるは、そだてるに通じます。すみません、ごめんなさいと言えない人。▼「お・あ・し・す」を地声かけただけで会話が始められます。挨拶は話すきっかけになります。おはよう、こんにちはと声をかければ、返事をかえさない人はいません。最近会話がなくなっている。減ったなあと思つたら相手の顔と目を見ながら挨拶をしてください。そして合言葉「お・あ・し・す」を地域で広げませんか？（小松興男）

コミュニティだより  
「三春わが街」第七十九号  
発行日 平成二十八年三月三十一日  
発行 三春まちづくり協会  
編集 三春まちづくり協会  
広 報 部 会  
三春町字真字泉(〇〇)一  
(六一) 三九八八